

## 電話電子交換システム「KDX-0」

本格的な国際自動ダイヤル化に備えて、国際電話電子交換システム「KDX-0」の研究を行った。このシステムは、室内実験室と NTT 武蔵野電気通信研究所との間で行われた共通線信号方式の対向試験を経て、1972 年（昭和 47）に完成した。システムの大きな特徴は、キーボード、CRT ディスプレイ装置を持った新しい電子交換台を持ち、コンピュータによる交換証の自動処理ができ、紙の交換証を廃止することで、交換者の作業能率を向上させたところにある。これにより、交換接続作業の能率化、課金処理の自動化、料金通知の自動化、交換証の索出などが可能となった。

出典：KDD 社史